

浅草文化の源流をはぐくんだ古刹 賑わう仲見世を抜けて観音堂へ

浅草観音の名で親しまれ、東京随一の参詣客数を誇る。寺の総門である雷門は外国人にも人気の浅草のシンボルだ。『浅草寺縁起』によれば、寺の起源は飛鳥時代の628(推古天皇36)年。檜前浜成・竹成ひのくまのはまなり たけなりの兄弟が隅田川で漁の最中に観音像を発見し、土地の長の土師中知はじのなかともが自宅を寺にして祀ったという。寺は江戸初期に徳川幕府の祈願所となつて最盛期を迎え、立派な伽藍を造営。境内に見世物小屋が立ち、仲見世が生まれ、付近に盛り場もできて江戸文化の拠点となった。往時の伽藍は東京大空襲などでほとんど焼失したが、大屋根の観音堂や五重塔などを戦後に再建。都内最古寺の風格と下町風情を今に残す。

キーワード

- ▶ **聖観音像** 本尊である聖観世音菩薩像で、人目に触れることのない秘仏。毎年12月の御開帳の際には、平安初期の円仁作と伝わる。本尊を模した前立本尊を一般公開する。
- ▶ **祈願所** 朝廷や幕府が祈願を行なう場所。浅草寺は幕府の祈願所になったことで徳川家に厚遇され、広大な寺領や大きな観音堂など伽藍の寄進を受けて大いに発展した。

宗派 聖観音宗
御本尊 聖観世音菩薩

【TEL】03-3842-0181 【所在地】東京都台東区浅草2-3-1
【アクセス】地下鉄・浅草駅から徒歩5分
【時間】6:00(10~3月6:30)~17:00 【休】無休
【料金】無料 【URL】www.senso-ji.jp

注目の行事

3月18日示現会・10月18日菊供養会 金龍の舞 きんりゅうのまい
本尊の観音菩薩が出現した際、空から龍が舞い降りたとの故事にちなむ。長さ18mの金龍による舞が奉演される。

7月9・10日 四万六千日 しまんろくせんにち
この日に参拝すれば4万6000日参拝したのと同じ功德があるという。境内には浅草の夏の風物詩、ほおずき市が立つ。

12月17・18日 歳の市(羽子板市) としのいち(はごいたいち)
12月の縁日は歳の市と呼ばれ、正月の縁起物とされた羽子板の市が立つ。恵比寿大黒天御影や縁起小判も手に入る。

参拝アドバイス

ご本尊は観音様です。合掌し、「南無観世音菩薩(なむかんぜおんぼさつ)」とお唱えしましょう。雷門裏側に奉安されている平瀬田中氏ら制作の二尊神像、あの芭蕉も聞いて「鐘は上野が浅草か」と詠んだ「時の鐘」など、隠れた見どころも豊富です。ぜひ私たちの無料ガイドをお申し込みください!!



台東区
観光ボランティアガイド
【URL】www.taitouboragai.com

見どころをCheck!!

境内案内

本尊が出現した駒形橋のたもとに創建

雷門

かみなりもん

寺の総門で、正式名は風雷神門。右に風神像、左に雷神像が立ち、寺を守護する。高さ4mの現在の大提灯は、実業家の松下幸之助が寄進した。



約90軒の商店が参拝客を賑やかに迎える

仲見世通り

なかみせどおり

参道に続く約250mの商店街。江戸時代前期に、境内の清掃を任せられた付近の住民が、その代価として出店を認められたのが始まりという。



入母屋造り本瓦葺きの堅牢な構え

宝蔵門

ほうぞうもん

仁王尊を祀り、高さ約23m。度重なる火災に遭い、現存のものは1964(昭和39)年の再建。2層に寺宝を納めているのが名の由来だ。提灯は小船町、吊灯笼は魚河岸講の寄進。



参拝ポイント

巨大な仁王尊像と「大わらじ」に注目!

檜造りの勇壮な姿の阿吽の仁王尊は、身体健全や厄災除けの守護神。裏手に下がる大わらじは長さ4.5mで重さ500kg。仁王様の強大なパワーの象徴で、寺を守り、魔除けにもなるという。

江戸時代の建築が残る

伝法院

でんぼういん

住職の修行場であり、住まいに利用する浅草寺の本坊。江戸中期の客殿や玄関が残り、小堀遠州作とされる回遊式庭園がある。現在は非公開。

外陣の天井画も必見の美しさ

本堂(観音堂)

ほんどう(かんのんどう)

外陣と畳敷きの内陣に分かれ、内陣中央の宮殿(くうでん)に本尊(秘仏)と前立本尊を安置。遠目にもそれとわかる、高くて急勾配の大屋根が特徴だ。現在の建物は1958(昭和33)年に再建。



参拝ポイント

「三社祭(⇒P.203)」で有名な浅草神社にも参拝

浅草寺の隣に建つ浅草神社は三社様とも呼ばれ、旧名は三社権現社。三社とは、浅草寺の本尊を発見した檜前浜成・竹成の兄弟と、最初に本尊を祀った土師中知の3人。この三社を祀るため、神社が創建された。

浅草神社 あさくさじんじゃ

☎03-3844-1575 ②東京都台東区浅草2-3-1



二天門

にてんもん

浅草寺の東門。もとは浅草東照宮の随身門だったが、社殿は焼失。徳川家綱霊廟から拝領した増長天と持国天を安置。

独特の建築様式

五重塔

ごじゅうのとう

将軍家光が寄進した国宝の塔は、本堂とともに東京大空襲で焼失。1973(昭和48)年に再建され、高さ48m。塔を囲み、基壇と一体化した建物を持つ塔院形式の建築。最上階に仏舎利を安置する。



Column!!

「凶」が出ることが多い? 浅草寺のおみくじ

凶が出る割合が多いといわれる浅草寺のおみくじ。観音百籤という日本古来の形式に則って、凶の数を3割にしているそうだ。10人に3人が引く確率。寺社での凶の平均は1割程度というから、多く感じるのも当然だ。凶のおみくじが出たら境内の指定場所へつなぎ、観音様との縁つなぎをして帰ろう。